

コロナ禍においても続く伝統行事

大野中学校



伝統のリングプル回収

総合的な学習の時間に取り組み「リングプル回収」が今年も実施されました。コロナ禍のため、依頼のチラシ配布は昨年引き続き、感染拡大防止に努めながら、7月に各家庭のポストに入れる方法での実施となりました。

事前学習では、各グループで担当する地域の戸数を確認して依頼やお礼のチラシを書き、「たくさん集まりますように」との願いを込めて作業しました。チラシ配布後は、本校の玄関前に置かれた回収BOXに、地域の方々が持ってきてくださっています。大野中学校伝統のリングプル回収では、これまで地域の高齢者介護施設等に12台の椅子を贈呈してきました。



「今年もたくさん集まりますように」の願いを込めて、事前にチラシを書く作業

地域の皆さまのご理解・ご協力で長く続いてきた伝統のリングプル回収は、ボランティア・環境両面においても大切なことに気付かされる、まさにSDGsにもつながる生きた学習です。コロナが収束して各家庭を訪問できる日が来ることを願うばかりです。



グループで協力しながらのチラシ配布



玄関前の回収BOX

オーケストラの音色を堪能

～仙台フィルハーモニー管弦楽団来校～

7月16日、仙台フィル管弦楽団の演奏会が行われました。

冒頭ではそれぞれの楽器の特徴の説明や音色が披露され、プロの演奏家の高い技術に魅了されるひとときを過ごしました。

体験コーナーでは、2年生・3年生の代表2名がオーケストラの生演奏をバックに指揮を体験して、個性的な「(歌劇)カルメン」が体育館に響き渡りました。

生徒からは「プロの演奏家の素晴らしい演奏を聴くことができよかった」「さすがにすばらしい演奏だった」「音色がとてもきれいだった」など、感動の声が幾重にも広がっていました。



プロの演奏を前に緊張しつつ鑑賞



生徒2名によるドキドキの指揮者体験

発声の極意を伝授

～新国立劇場合唱団ワークショップ～

9月に予定されていた新国立劇場合唱団の演奏(新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期)に向けての事前ワークショップが、1学期終業式を目前に控えた7月26日に実施されました。

密を避ける意味で学年ごとに実施され、プロの音楽家から発声の極意やポイント、有名な楽曲が披露されました。

オペラの演目の中で、若い娘役はソプラノ、悪役はベースなど、各パートが持つ人物の役割などの興味深い説明もあり、2学期に予定されている学校祭の合唱コンクールへの意欲を新たにしている大中生でした。



テノールの「オ・ソレ・ミオ」が響く♪

(大野中学校 教諭 山本 幸栄)